

4月23日  
日常生活での交通安全の意識を高める  
春の交通安全教室を開催 | 弟子屈高校



シミュレーターで模擬運転に挑戦  
弟子屈高校(宮崎円校長)で4月23日、春の交通安全教室が行われました。この教室は、日常生活での交通安全の理解を深め、命の大切さを学ぶために行われたもので、全生徒が参加。教室では、KDS 釧路自動車学校自動車安全教育チームの田中雄貴さんとインストラクターの鈴木亮平さん、弟子屈警察署地域交通課田中ともよ巡査長が講師を務めました。鈴木さんの講演の後、生徒2人が同社の自転車シュミレーターを使った模擬運転に挑戦。田中巡査長からは、事故の当事者にならないよう気をつけてほしい」とのお話がありました。

4月16日  
弟子屈町自治会連合会が50周年  
令和元年度(平成31年度)定期総会を開催



あいさつする野田口会長  
町自治会連合会の令和元年度(平成31年度)定期総会が4月16日、町公民館講堂で行われました。同連合会の野田口昌明会長はあいさつで「今年度は弟子屈町自治会連合会50周年を迎えることとなった。これからも地域住民が連携しあうようにしていきたい」と話しました。同連合会は、各自治会による町内の清掃や花いっぱい運動などの環境衛生・美化活動、旗の波街頭啓発や防犯活動など安心・安全活動を推進。「思いやりと助け合いの輪を広げましょう」を推進事業テーマに掲げています。

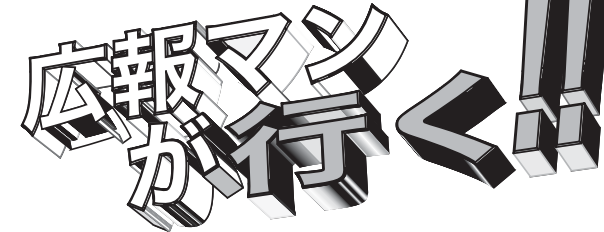
3月18日

防犯・暴追の意識を再確認  
町防犯協会・暴追推進協議会合同研修会を開催



町防犯協会(田中富士男会長)と町暴力追放運動推進協議会(高田中会長)による平成30年度弟子屈町防犯協会・弟子屈町暴力追放運動推進協議会合同研修会が3月18日、町公民館で開催され、およそ40人が参加しました。研修会では、公益財団法人北海道暴力追放センター釧路支局の野手敏明支局長が「暴力団排除の現状」について講演。覚せい剤や賭博などの伝統的資金源に加え、近年は窃盗や特殊詐欺などの犯罪を資金源としていることなどが紹介され、参加者の皆さんは改めて防犯・暴追の意識を強めたようでした。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

5月16日

「人権」ってなんだろう？  
川湯小学校で人権教室を開催



紙芝居で人権を考える  
釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が5月16日、川湯小学校(中岡美緒校長)で開催されました。講師に鶴居村人権擁護委員の宇野健二さん、弟子屈町人権擁護委員の日下部眞理子さん、芳藤啓順さん、金井典子さんを迎え、1・2年生は、紙芝居「ずっとともだちでいたいから」、3・4年生はDVD教材「プレゼント」を視聴。5・6年生は、児童らはいじめをなくするために必要なことについてまず考え、その後のグループ学習では話し合いや多数決などで工夫してグループの意見をまとめ、発表しました。

4月27日

優秀な牛を表彰  
第15回イースタンスプリングショーを開催



入賞牛を囲んで  
本町と標茶町のホルスタイン改良同志会による「第15回イースタンスプリングショー」が4月27日、好天の中、銘別家畜共進会場で開催されました。両町9戸の酪農家から、選りすぐりの乳牛33頭が出陣され、オールジャパンリーダーズサービス(株)の林満治さんによる厳正な審査の下、各部門のチャンピオンが決定しました。▷ジュニアチャンピオン「ブライトランドスレイター ポーラ」(弟子屈・坪井泰憲さん)▷リザーブ・ジュニアチャンピオン「ステイゴールド SL ラブモン」(標茶・佐藤喜貴さん)▷シニアチャンピオン「KS ヒラリー アツトウツド マニ」(標茶・鈴木重充さん)▷リザーブ・シニアチャンピオン「ブライトランド HL メモリー マギー」(弟子屈・坪井泰憲さん)

3月30日

リズムよく軽やかに  
第5回ふまねっと交流会を開催



リズムよく軽やかにステップ  
ふまねっとサポーターの会一九・三(代表寺岡清敏)主催の第5回ふまねっと交流会が3月30日、摩周観光文化センターで開催されました。各地域で「ふまねっと」を行っている皆さんが一堂に会する交流会で、今年は町内10のチームとサポーター約200人が参加。グループに分かれて合同ステップを楽しみ、後半では、各チームが選んだ音楽に合わせて、工夫を凝らしたステップを披露。終了後には、川湯出身の落語家、三遊亭道楽さんの講演も行われ、会場は大きな笑い声に包まれていました。

3月18日

観光PRに向けて連携  
町と(一社)日本自動車連盟(JAF)と協定締結



町と一般社団法人日本自動車連盟(JAF)との観光協定の締結式が3月18日、町役場で行われました。この協定はお互いの資源を活用し、観光振興を通じて地域社会の発展と、JAFの各事業の拡充を目的に締結。JAFでは、機関誌「JAF Mate」やウェブサイトでの情報発信、窓口でのポスターの掲示などを行い、観光のPRを実施。徳永町長は「JAFのサービスには助けられている。観光PRに向け連携していきたい」、富生釧路支部事務所長は「安全安心を支えるサービスと名産品の紹介など情報発信に努めたい」とそれぞれ話していました。

5月20日

道行くドライバーに交通安全を呼びかける  
旗の波による街頭啓発



沿道から安全旗で交通安全の呼びかけ  
町交通安全運動推進協議会と町交通安全協会の共催による旗の波街頭啓発が5月20日、摩周観光文化センター前の国道391号で行われました。春の全国交通安全期間中に毎年行われているもので、今回は「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせて実施されました。関係者など約70人が参加し、安全旗を手渡し、行き交うドライバーにパンフレットなどの啓発品を手渡し、交通安全を呼びかけました。

5月19日

弟子屈町指定名木を巡る  
春の名木ツアーで大人の遠足



萩原さんのガイドを参考に  
町と根釧西部森林管理署の共催による「春の名木ツアー」が5月19日に行われました。町内外の28人が参加し、奥春別地区のエゾヤマザクラなど4本の名木を巡り、水郷公園などを散策し植物や野鳥を観察しました。今回も北海道認定木育マイスターの萩原寛暢さんがガイドを務め、名木だけではなく、ちょうど見ごろを迎えた草花や野鳥について解説。参加者の皆さんから、とてもおもしろかったと、好評を博しました。

4月13日

美留和地域の憩いの場が3周年  
「美留和サロン」で記念パーティーを開催



参加者で輪投げに挑戦  
美留和地域の皆さんで行われている交流会「美留和サロン」の3周年を記念したパーティーが4月13日、美留和会館で行われました。平成28年から定期的に行われている地域の交流会で、概ね65歳以上の方が参加しています。今回は3周年記念として地域の子どもたちなど、25人が参加。記念パーティーではごちそう作りやクレープ、たこ焼きなど、参加者が協力して調理しました。昼食を楽しんだ後は小学生4人による紙芝居の披露や、豪華景品が当たるダーツと輪投げ、くじ引きが行われ、世代を超えた交流で多に盛り上がりました。

4月11日

赤ちゃんすくすく応援事業を拡充！  
地場産木材で作った記念品を贈呈



記念品を受け取る猿田さん  
本年4月に生まれた猿田明莉ちゃんに4月11日、徳永町長から赤ちゃんすくすく応援券と地元で間伐されたカラマツ材を活用した組立式イスやフォトフレームなどが記念品として贈呈されました。今年度より町内で生まれたお子さんには応援券のほか木工品を贈呈。この木工品の制作には、間伐の推進、林業の担い手の育成、木材利用や普及啓発などの森林整備のために創設された森林環境譲与税を活用しています。町では地元の木材を使ったぬくもりある木工品を使ってもらい子育ての支援と地元木材の活用を推進します。